



小野田中は、学校・家庭・地域で、子どもたちの成長を応援します！

小中だより

山陽小野田市立小野田中学校
TEL 83-2576
FAX 83-2838

No. 1 1 令和4年3月25日（金）

Webページ <http://www.edu.cty-so.jp/onoda-jhs/>

《校訓》 健康明朗 清潔整頓 勤勉努力 自主自律
《学校教育目標》 「ふるさとを愛し、心豊かで学び続ける生徒の育成」

新しい学年へ向かおう

保護者並びに地域の皆様、令和3年度小野田中学校の教育活動へのご理解とご協力、ご支援を大変ありがとうございました。

春休みは1年間のまとめをして、次の学年や進路に進む準備の時期です。この1年間を振り返り、何ができるようになり、まだできないことは何なのかをはっきりと自覚することが大切です。キャリア教育の中で、夢や目標を考える視点として次の三点があげられています。

自分がしたいことは何か … 様々な体験を通じて自分がしたいことを見つけ、将来の夢や目標をもつ
自分ができるとは何か … 夢や目標の実現に向けて努力し、自分のできることを増やし良さを伸ばす
社会が求めていることは何か … 社会の一員としての自覚を深め、自分の役割を果たそうとする

さて、3月10日（木）には、第75回卒業証書授与式が挙行されました。123名の卒業生が卒業証書を手にして、義務教育課程の有終の美を飾りました。卒業式では、卒業生一人ひとりが学級担任の呼名に大きな声で「はい」と返事をして、卒業証書を手になりました。また、答辞の最後の合唱「旅立ちの日に」や校歌斉唱も素晴らしい歌声で、旅立ちにふさわしい立派な卒業式でした。3月16日（水）には公立高等学校の合格発表もあり、ほとんどの生徒の進路先が決まり、新生活の始まりの準備をしています。

1・2年生は、修了式を迎えます。4月からの新学年・新学級へ備えていきましょう。3月22日（火）には、小学校で卒業式を終えた新入生114名が仮入学で登校しました。ソーシャルディスタンスをとり、きちんと整列して静かに話を聞ける態度に感心しました。

下の文章は、卒業式での校長式辞の一部です。卒業生に向けた言葉であり、式に出席した2年生は聞いていますが、今一度読んでみてください。

今年二月に、北京冬季オリンピックが開催され、現在は、パラリンピックが開催されています。その大舞台で、多くの日本人選手が大活躍し、メダルを獲得しました。その活躍を見て、日本人としての誇りや、困難に立ち向かい果敢に挑戦する勇気を感じたことでしょうか。あの選手達は、なぜあれだけのパフォーマンスを発揮できるのでしょうか。運動能力が人より優れていたから、才能に恵まれたから、だけではなく、メダルを獲るという「夢や目標」のために、自分自身の技術を磨き、ライバル達を研究し、緻密な計画を立て、血のにじむような努力を積み重ねたからだだと思います。そして、なによりも勝利をめざす強靱な意志の力があつたからこそだと思います。皆さんも「夢や目標をもち、それを正しい努力によって叶える。」ことを実践してほしいと思います。

また、メダルが獲れた選手も、残念ながら獲れなかった選手も、インタビューでは「多くの人に支えられてここまでできました。本当に感謝しています。」と口々に語っていました。人は一人で生きていくことはできません。皆さんにも、愛情をもって育ててこられた家族、ともに成長してきた仲間、教え導いてくださった先生方がいるはずで、自分の周りにいて支えてくれる方々への「感謝の気持ち」を常に持ってください。



卒業証書授与



卒業生 答辞



合唱「旅立ちの日に」



最後の学活



記念撮影



見送り

2年生 立志のつどい

3月15日(火)に2年生が立志のつどいを行いました。本来は2月に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、3月に延期しました。立志のつどいとは、元々は奈良時代以降の成人式で「元服」といわれており、数え年で15歳頃の立春に行われます。大人の服を着たり、大人の髪型に変えたり、名前を改めたりすることもありました。つまり、子どもから大人の仲間入りをするための儀式です。2年生では、下記の3点を目標として、最上級生となる決意を新たにしました。

- (1) 日々の生活を振り返り、自己の生き方を追求する態度を育てる。
- (2) 進路選択を次年度に控え、自己理解や自己実現へ向けての手立てとする。
- (3) 他者の将来に対する考えや思いを学年で共有して、共に学び高め合う集団を目指す。

最初に職業講話のまとめを4グループが発表しました。その後、島根県益田市の、一般社団法人 ユトラボ(豊かな暮らしラボラトリー)代表の檜垣賢一様(山陽小野田市出身)の講演を聴きました。講演では、「都会で暮らすことが幸せなのではない。田舎には何もなければ、ないからこそ、自分たちで作り出す楽しさやワクワクがある。自分の気持ち次第で、世界の見え方は180度変わる。」と話され、なるほどと思大変参考になりました。また、「過疎」という言葉は、益田市でつくられたということを知りました。

次に「将来に向けての決意」を2名の生徒が発表した後、保護者に向けて「凡事徹底」「学力向上」「自主自立」「責任」「挑戦」の誓いのことばを全員で唱和しました。



職業講話発表



講演 ユトラボ



檜垣賢一様



将来に向けての決意



誓いのことば

春休みと新学年の日程

離任式	3月31日(木)	11:15	1・2年生は教室に登校、3年生はサブアリーナに集合
		11:30	開式
始業式	4月8日(金)	7:45	新学級名簿を昇降口に掲示
		8:15	新学級に着席(朝読書)、午前中日程